

# 令和2年度 慶應義塾大学日吉寄宿舍 入舎案内



秋のキャンプにて

## 目次

委員長より	3
舎監より	4
OB より	5
生活	6
イベント	9
仕事	13
人間関係	15
FAQ	17
副委員長よ	20

## 日吉寄宿舍へようこそ！

令和元年度前期委員長 法学部 3年 萩原大佑(奈良県出身)

「自治寮？なんじゃそら、めんどくさ」とか「上下関係に三人部屋？やだよ、俺は一人暮らしが憧れなんだ」とか、うだうだ言ってるそこの君！この入舎案内を読んでいる時点でちょっとこの寮が気になってるんじゃないの～？さらに、朗報である。これを読めば、自治寮、三人部屋、上下関係 etc.、そんな不安を全て取り除き、この日吉寄宿舍の魅力が最大限まで理解することができるであろう。

では早速だが、寄宿舍のメリットについて考えてみよう。家賃は安いし、食事は出るし、学校からも近い。一生の友達ができるし、先輩に過去問をもらえるし、OB に就職の相談もできる。お風呂やトイレはきれいだし、書籍と漫画の数は数え切れない。先輩が合コンをセッティングしてくれることもあれば、有志で富士山に登ることもある。クリスマスを一人で過ごすのが嫌なら寮生と仏教徒の会をすればいい。寮生と一緒に、夜遅くまでゲームを楽しもうとも、深夜にラーメンに行こうとも自由だ。人生に悩んだら、誰かが相談に乗ってくれる。テストのこと、奨学金のこと、サークルのこと、アルバイトのこと、おすすめの散髪屋のこと、北海道の観光地のこと、宇宙のこと、日本経済のこと、マルクス主義のこと、プロ野球のこと、横浜のデートスポットのこと、アニメのこと、アイドルのこと、麻雀のこと、すべて寮生の誰かが知っている。本当に頼もしい。どうだろう？少しは寮生活の魅力が伝わっただろうか。

しかし、寄宿舍に興味をもった君たちにとって、寄宿舍の門を叩く前に前述の「不安」を拭い去っておきたいのは当然だろう。まず、自治における仕事。日吉寄宿舍は、自治寮であるがゆえ、各々に仕事がある。時間拘束もある。これは義務だから仕方がない。しかし、考えてみてほしい。自分たちの生活に関わること、何が必要で、どういう制度がいいのか、ということを決めることができるのだ。福澤諭吉先生の「独立自尊」の精神のもと、私たちは自治を営んでいる。これが意外と楽しいのだ。次に、上下関係。自治を運営するには、多少の上下関係があった方が都合がいいという考え方がある。私は、寄宿舍の上下関係は良質な上下関係だと思う。暴力やパシリは、断じて無い。何より、上級生は下級生への思いやりに溢れている。私たちは、入舎した君たちを弟のように可愛がるだろう。君たちには、何人もの兄ができる。そして、翌年には何人もの弟ができる。素晴らしいことだ。さらに、三人部屋。今となっては、これが抵抗になっていた理由がわからない。正直めっちゃくちゃ楽しい。一緒にご飯に行ったり、旅行に行ったりできるし、部屋メンバーにしかできない深い話もある。他方、ここで一人暮らしを想像してみよう。家に帰っても、部屋の電気は点いていないし、「おかえり」と言ってくれる人もいない。病気を気遣ってくれる人もいない。寄宿舍ではどうだろうか。寂しいと思う瞬間は無い。

寄宿舍について話したらキリがない。まずは、この入舎案内を読み進めてみよう。私は、個性あふれる君たちの入舎を心待ちにしている。

## 寄宿舎への入舎を希望する諸君へ

舎監 体育研究所教授 野口和行

福澤先生は慶應義塾設立の目的として「単に一所の学塾として自から甘んずるを得ず。其目的は我日本国中に於ける気品の泉源、智徳の模範たらんことを期し、之を實際にしては居家、処世、立国の本旨を明にして、之を口に言ふのみにあらず、躬行実践、以て全社会の先導者たらんことを欲するものなり」という言葉を残しております。学問に励むことを通し、人として立派な行いが出来ることが大切であると説いています。

慶應義塾の義塾という語は英国の Public School にあたるものだと考えられていますが、この英国における Public School は英国の支配階級の師弟を養成する全寮制の学校として今でも多くの優秀な学生をオックスフォードやケンブリッジといった大学に送り込んでいます。そこでは自由と規律、公正なスポーツマンシップや互いを尊重する精神など、教養のある人としての noblesse oblige (ノブレスオブリージュ:身分の高い人はそれなりの責任を果たすべきであるというヨーロッパにおける道徳観のひとつ)が身につくことをねらった教育が行われています。この Public School の教育では教室中の勉学のみならず、学生寮内で先輩が後輩を指導していくということも大切な人間教育であると考えられていました。

福澤先生も大阪で緒方洪庵が開いていた蘭学塾である適塾で学んだ際には多くの学友とともに寝起きをしながら洋学を学びその青春時代を送りました。さらに義塾創設当初は多くの塾生が三田山上の福澤邸近くの寄宿舎で寝起きをしながら勉学に励んでいました。その後、昭和 11 年に日吉予科校舎の完成と相俟って、日吉キャンパスに現在の寄宿舎が建設されました。つまり、慶應義塾の歴史は寄宿舎の歴史と共にあったともいえるでしょう。

現在も寄宿舎では 40 名ほどの舎生が自らの自治の下で寄宿舎の運営を行っています。最近の研究では、人生の成功を導く上で、IQ や学力テストで測ることができる認知能力だけでなく、「忍耐力がある」、「社会性がある」、「意欲的である」といった人間の気質 や特徴である非認知能力を身につけることが重要であるということがわかってきています。その中でも特に「自制心」と「やり抜く力」が人生の成功のために大きな鍵を握っています。これらの能力は、確固たる規律の下で共同生活をしながら勉学に励むという寄宿舎での生活で効果的に学ぶことができると確信しています。

皆さんも是非寄宿舎での生活を通して非認知能力を磨き、社会の先導者として活躍して頂きたいと願っております。

## 日吉寄宿舍の乗客となる君へ

2018年卒寮

村瀬駿太郎

入舎案内を書くにあたり、日吉寄宿舍の面接を受けようと、初めて一人で上京した時のことを思いやった。故郷の山口県から新幹線に乗り、幾ばくの不安を抱きながら、まだ見ぬ土地を目指す。車窓には、移りゆく景色が鮮やかだった。

〈本の葉少し動かし旅終わる〉。近江砂人の句を思い出す。海沿いに広がる石油コンビナートを横目に、美濃の雪景色を過ぎ去る。眼前にそびえる富士山に無心にシャッターを押した。時速200キロで疾走する鉄道の中で、私は面接の想定問答を考えるのを後にして、代わる代わる映し出されるその景色に釘付けになっていた。

『奥の細道』（松尾芭蕉）の書き出しは、「月日は百代の過客にして」という。受験生にはおなじみだろう。時の流れは永遠に移ろう旅人のようで、ひとたび去っては帰らない。芭蕉は長旅のさなか、その一瞬一瞬を噛みしめるように句を詠んだ。

「日吉寄宿舍」の列車に乗って見てきた景色をいま振り返る。毎日を共に過ごした寮生の表情が浮かぶ。真剣に議論した。くだらない遊びで大笑いした。みんなで鍋を囲んだ。誕生日を祝った。その瞬間の景色が、目に焼きついて離れない。景色の中にはいつも「人」があったと気づく。

君の車窓は、どんな景色で彩られるのだろうか。うっそうと木々が茂る静かな森か、白波が岸壁に打ちつける荒れた海原か。「日吉寄宿舍」の列車は自由に道を進む。寝食を共にする乗客は個性豊かでたくましい。君をどんな所へでも連れていってくれるだろう。目的地のない旅だ。想像するだけでわくわくする。

出発の時刻は迫っている。高らかに鳴り響く汽笛が、特別な旅の始まりを告げた。今まで目にしたことがない、色とりどりの絶景に胸を膨らませながら。さあ、列車に乗り込もう。

## 生活

私達は当然普通の大学生ですから、様々な人間がいろいろな学生生活を楽しんでいます。サークルやバイトに没頭しているもの、麻雀やゲームに興じているもの、夜になると目が輝きだし、酒やジュースを片手に明け方まで語り合うもの、皆それぞれのライフスタイルを持っており、寄宿舍では多くの個性と密接に触れ合う機会が非常に多くあります。これが 1 人暮らしにはない楽しさです。

寄宿舍での生活は基本的に 1 部屋 3 人ないし 2 人の相部屋となります。それぞれ学年の違う 3 人がくじ引きによって決められ、1 年間暮らすこととなります。共用設備としては、洗濯機、乾燥機、風呂、シャワー、トイレ、公衆電話、ジュースの自動販売機、パソコン、プリンター、スキャナー、コピー機、ファックスなどがあります。また食堂、テレビ室、自習室などがあります。建物も 5 年前に改装したばかりで、家賃の割にはかなり綺麗です。

### 設備について

---

日吉寄宿舍の設備は、とても充実しています。各部屋には冷蔵庫、空調機器、机、ベッド、クローゼット、廊下には個人の物置スペースも確保されています。お風呂は多くのシャワーが用意されており、週に 3 日だけお湯に浸かることもできます。洗濯機、乾燥機もあります。

また、パソコン室、自習室、食堂、テレビ室など、部屋以外にも利用可能なスペースが多く存在します。パソコン室で授業の資料を印刷したり、課題をこなしたり、個人が思うように利用しています。

全ての部屋に Wi-Fi もあります。

日吉寄宿舍で設備に困ることは無いですよ。

理工学部 1 年 A.N(山口県出身)

### 生活費について

---

私は実家からの月々 7 万円の仕送り金を生活費に充てています。日吉寄宿舍の月 3 万円という破格の寮費、寮食費のおかげで、残りの 4 万円とアルバイト代の数万円を休日の食事代や遊びのお金に使って十分満足に生活を送ることができています。出費の多いサークル活動などがあっても自由に使えるお金は十分に残ると思います。他の日吉の物件だと安くても月 5 万円以上はすると思いますので、食事付きで月 3 万円の日吉寄宿舍の安さが実感できると思います。

経済学部 2 年 Y.A(岡山県出身)

## アルバイトについて

---

みなさん大学に入ったらどんな生活を想像しますか。大学生になったら高校生のころとは比較にならないほど自由な時間が増えます。その時間を利用してサークル、旅行、買い物、資格試験など、人それぞれやりたいことがあることでしょう。ただ、どんなことをするにしてもやっぱり必要になってくるのがお金。だからこそ、大学生になったらアルバイトをしてみたいと考えている人が多いはず。そんなみなさんに朗報です。寄宿舍に入っている人たちは、皆、勉強、アルバイト、趣味などしっかりと両立させています。寄宿舍に入ることでアルバイトができなくなるということはありませんので安心してください。

寄宿舍にはアルバイトに関して大きなメリットがあります。その一つが寮で代々受け継いでいる寮生バイトというものです。寮生バイトというものは寮に対して依頼されるアルバイトのことで、寮に属している人が限定で行うことができるアルバイトのことです。そういったアルバイトは知り合いが多く、初めてアルバイトをする人でも、取り掛かりやすいものとなっているのでお勧めです。また、寮の上級生からアルバイトの紹介をしてもらうなど寄宿舍ならではの人間関係がこんな場面でも生かすことができるんですよ。

みなさんも大学生になったら、お金という観点だけでなく、様々な経験をするという意味でもぜひアルバイトをしてみたらどうでしょうか。

理工学部 1年 R.A(長野県出身)

## 寮食について

---

授業のある平日の朝と晩に、寮食が提供されています。朝は7時30分から8時15分の間で、管理人が和食、中華、洋食色んなメニューを作って下さっています。晩は17時から22時30分までの間で都合の良い時間に食べることになっていて、大学生協から日替わりのメニューを提供してもらっています。一人暮らしではつつい偏ってしまいがちな食生活ですが、私達はおいしい寮食のおかげで、毎日健康に暮らせています。

商学部 3年 I.M(宮城県出身)

## 資格試験について

---

日吉寄宿舍には、毎年様々な出身を持つ新入生が入舎し、目標は違えども皆目標に向かって日々勉強に励んでいます。資格の取得に尽力している舎生も少なくありません。寄宿舍には司法試験、TOEFL、TOEIC、簿記、公認会計士、中小企業診断士、証券アナリスト、証券外務員、危険物取扱者免状など、多種多様の資格を志している者がいるのです。また、キャンパスの図書館に距離が近いだけでなく、寄宿舍内にも24時間利用可能な自習室が完備されており、小説や新書だけでなく参考書も豊富に並べられています。これらを自由に利用できるということは明らかに他の塾生にはないアドバンテージです。資格試験合格を目指しているのであればぜひこの日吉寄宿舍に入り、ともに奮励努力していきましょう。

法学部1年 S.I(メルボルン出身)

## 寮の誘惑について

---

寮には多くの誘惑があります。寮には常に人がいて、いつでも会って話をすることができます。その他にも、上級生の方々からのお誘いがあったり、お風呂で長い時間語り合ったり、共通の趣味で学年を超えて盛り上がったり、寮の様々なイベントで楽しんだり、数え上げることのできない程寄宿舍には独特の誘惑があります。

今述べた「寮の誘惑」は「寮の楽しみ」と表裏一体です。「誘惑」というとなんだか負のイメージが出てしましますが、これらは日吉寄宿舍でしか体験できない寮の楽しい出来事でもあります。そのため私は、普段の寮生活では「寮の楽しみ」を存分に満喫しつつ、テスト期間やサークルなどの自分にとって大事な時間は「寮の誘惑」に負けないように集中する、といったメリハリをつけています。

このように、寮には多種多様な誘惑があるからこそ、自分の中で多様なセルフマネジメント機構が確立され、却って一人暮らしよりも自己管理ができるようになると私は感じています。

理工学部1年 T.K(兵庫県出身)



## イベント

寄宿舍には様々なイベントがあります。それらはどれも一風変わった、寄宿舍生活を彩るものばかりです。これらは全て私達自身が企画し、開催するものです。ここではその一部を紹介します。寄宿舍の雰囲気を少しでも感じていただければ幸いです。

### 4月

入舎式: 新入生が寮に入って初めての行事。新たな生活への意気込みを語ってもらいます。  
新歓旅行: 生活がちょっと安定した4月中旬の隙を突いて、1泊2日の新入生歓迎旅行へ行き芸をしたり騒いだりします。

### 5月

ダンスパーティー: 1年生がちょっと甘酸っぱい思い出ができること間違いなし。  
慶早ハイク: 大学野球伝統慶早戦の前夜、寄宿舍から神宮球場までの20kmを仮装して歩きます。

### 6月

寮内運動会: 年に一度の大運動会。学年が入り乱れ、サッカーやソフトボールで優勝を争います。

### 7,8,9月

ほぼ夏休み: 授業ナシ! サークル、バイト、帰省、旅行、なんでもやりたい放題の夢期間です。

### 9月

秋の行事: 毎年何をするかアンケートを基に決定します。近年では奥多摩や鎌倉方面でのキャンプ等があります。

### 10月

秋の慶春ハイク: 春だけではないですよ。もう一度仮装して歩きます。帰りにも歩いて帰るという猛者による裏ハイクもあつたりなかつたり...

### 12月

カクテルパーティー: 4年生のためにパーティーを開きます。4年生以外も参加できます。  
仏教徒の会: 12月24日、イルミネーションに関わりのない男たちだけで行われる最も神聖にして崇高な行事です。  
越年会: 読んで字の如く。寮生とともに年を越すのもアリ!? 強制参加ではないのでご安心を。

### 1月

成人式: 成人する寮生を寮で祝う会。

### 2月

追い出しコンパ: 卒業する4年生を送り出します。1年を通して最も感動的な行事。

スキー旅行: 男だけでスキーを楽しむ。これが終わると成績開示が...

## イベントについて

日吉寄宿舍には、1年を通して様々なイベントがあります。寄宿舍の公式イベントでは、寮内運動会、秋のキャンプ、成人式、追い出しコンパなどがあり、どれも大盛り上がりなイベントです。このイベントを通して普段あまり話さない人とも仲良くなることができます。また、非公式なイベントでは、慶早戦の際に仮装しながら神宮球場まで歩く、慶早ハイク、大食い企画、ワールドカップ観戦など、寮生が独自で考案した行事も行われています。このように日吉寄宿舍では自分の好きなことを一緒にやれる場所でもあります。ぜひ、一緒に盛り上がりましょう。

文学部 2年 K.K(岐阜出身)

## 誕生会について

時計の針が午前0時を指すと...同期、上級生、下級生を含めたくさんの方が部屋に入り込んでくる。驚くと同時に部屋の電気が消され、バースデーソングと共にろうそくのついたケーキが運び込まれる。そしてプレゼントタイム。その年々によって変わるが、個人個人で渡されたり、同期全員からまとめて1つのプレゼントを渡されたりと学年の色が出てくる。プレゼントタイムが終わり、ケーキを食べ今年の抱負を言ったりとある程度喋ったら終わると思いきや...

後から振り返るとあの時はまだまだ始まりに過ぎなかったと思うだろう。

この先が知りたい方は是非日吉寄宿舍へ。

経済学部 1年 K.S(埼玉県出身)

## OB・寮和会について

日吉寄宿舍では寮和会という、寮のOB組織があります。現在では年に2回、OBの先輩方との交流会や講演会が開催されています。様々な方面で活躍されているOBのお話は刺激的で、有意義な機会となっています。さらに、寮和会の方々が設立してくださった大規模な基金からは、寄宿舍の設備やイベントに出資をいただいております。また、舎生の活動に対しての支援もしていただくなど、感謝に堪えません。あなたも、80年以上の歴史を誇る日吉寄宿舍で、寮和会の方々と交流を深めてみませんか。

文学部 3年 S.O(福島県)

## 新歓期間について

---

新入生歓迎期間、通称「新歓期間」とは、晴れて寄宿舍に入舎した新入生に向けて、これからの寮での生活に必要な知識、ルールを覚えてもらい、また上級生と顔合わせをしてもらうための期間です。多くの新入生にとっては人生で初めての寮生活でしょうから、初めのうちは寮独特のルール、文化、生活様式に戸惑うだろうと思います。入舎当時の私もその一人で、予想していた以上に覚えなければならないことが多く、新歓期間のうちは楽しいことよりも辛いことの方が多かったです。ここまで読んでくださった方は、厳しそうだな、なんか面倒くさそうだなと思ったかもしれません。しかし、この新歓期間は、あくまで新入生の皆さんが少しでも早く寄宿舍での生活に慣れてもらうためのものです。新しい生活には困難がつきものです。私たちはその困難を少しでも減らせるように全力でサポートをしていきます。また、寮の新歓期間のせいでサークルの新歓に全然行けない、なんてことはないので安心してください。共同生活において、共通のルールを覚えるというのは欠かせないことなので、新入生にとってはちょっと大変かもしれませんが、新歓期間は上級生や同期と仲良くなるいいチャンスでもあるので、むしろ楽しんでやる、くらいの心持でいてください。期待と希望に溢れた新入生に会えることを楽しみにしています。

文学部 2年 R.T(栃木県出身)

新入生歓迎期間（新歓期間）とは新しく入舎した1年生が2週間かけて、日吉寄宿舍で生活する上での必要不可欠なルールや上級生との接する上での礼儀などを学び、身に付ける期間です。日吉寄宿舍には、ここだけの特殊な文化やルールがありそれを覚えなきゃ集団生活をするできません。また、部屋は学年がバラバラな三人部屋になっており、そしてこの寮は自治運営で成り立っているため上下関係重要になっています。その為、この新歓期間は一定の時間的拘束があり、一年生にとってはいきなりの試練かもしれません。これを読んだ方は厳しそうと感じるでしょうが、この寮での生活に少しでも早く慣れてもらう為のものです。そして、私達も負担が少なくなるよう最大限サポートしていきます。新歓期間のせいで、サークルの新歓に行けないというないので安心してください。あと、この新歓期間で四年間共に過ごしていく同期との絆が深まることは間違いありません。この文を、読んだあなたと共に暮らせることを楽しみにしています。

経済学部 1年 K.H(神奈川県出身)

## 舎内団体について

---

寄宿舍では多種多様な活動が盛んです。その活動の基点となっているのが、舎内団体(通称:〇〇寮会)です。現在寄宿舍には多種多様な舎内団体がありますが、例えば行事等でバンド演奏をする音寮会、胃袋に自信のある人たちで構成される食寮会、オタク活動に勤しむオタク寮会、観劇に精を出す劇寮会など…これらの団体は自分で立ち上げることが出来、自由に活動できます。

同じ趣味を持つ仲間とともに好きなことを追求できるのは寄宿舍の大きな魅力の1つです。

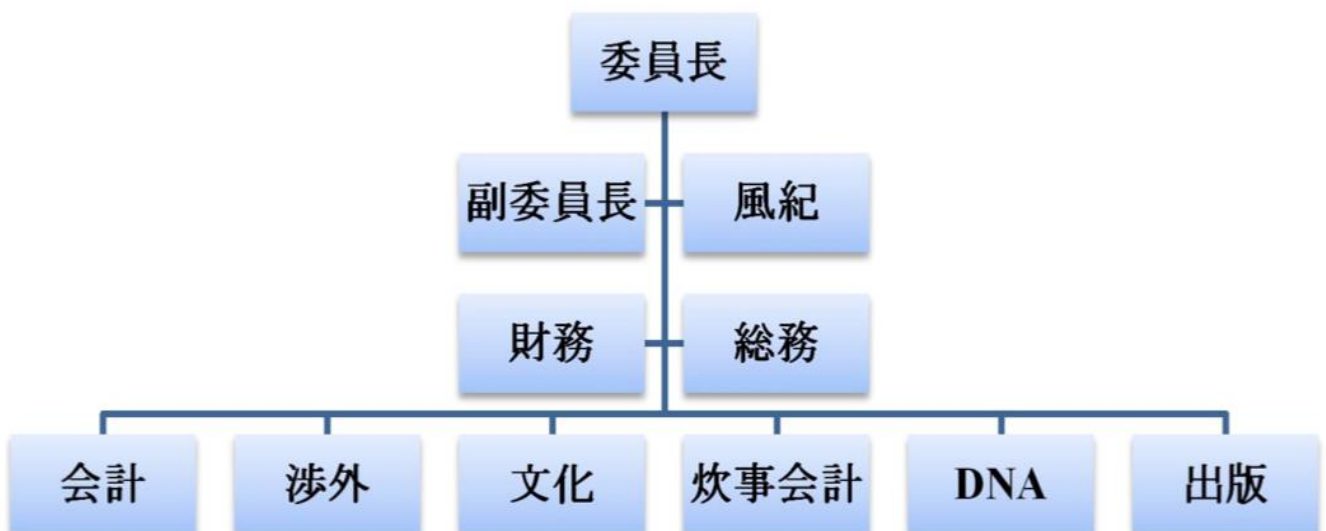
理工学部3年 K.S(山口県出身)

## 仕事

寄宿舍では、生活における全ての取り決めを自分たちで決定し、遵守するシステムを採用しています。例えば、寄宿舍内の規定の策定、大学側との寄宿舍運営費の折衝、よりよい生活環境を得るための話し合いといったことから、舎生の集金、コピー機の管理、トイレトペーパーの補充といった小さなことまで、舎生の仕事としてそれぞれが責任を持って取り組んでいます。

このような大小様々な仕事を効率よく行うため、私達は委員会を組織し、寄宿舍内外における様々な仕事を取り扱います。舎生は委員会に所属し、毎月一回の会議に参加する義務を負います。会議ではそれぞれの仕事の進行状況や問題点についての協議がなされます。

1年生と2年生は主に補佐的な仕事を負い、3年生が寄宿舍運営の中心的な役割を果たします。何やら堅い話になってしまいましたが、これらは寄宿舍という団体生活を営んでいく上でなくてはならないものです。



## 委員会について

---

委員会は寄宿舍の自治を担う最大の組織です。委員会では、一年生の6月から四年生の5月まで何らかの役職に就き、職務を全うします。任期中は一ヶ月に1回、全役職が集まる会議があり、そこで役職間の情報交換や寮内の問題について議論します。

委員会は三年生で構成される五役と、その下で働く一、二年生で構成される下六役に分かれています。五役とは委員長、副委員長、財務、風紀、総務の五つの役職を指し、下六役とは会計、渉外、炊事会計、DNA(Dormitory Network Association)、出版のことを指します。舎生は必ず何れかの役職に所属して、仕事をしてもらいます。委員会での活動を通じて、寄宿舍をより良くしていくことができます。

とても自由な大学生だからこそ、あえて責任のある仕事を行うことで自身の生活にメリハリもつき、貴重な経験になること間違いなしです。

理工学部1年 S.T(京都府出身)

## 室僕ワークについて

---

部屋での立場は、室長、副室長、室僕の三種類あります。新入生の皆さんは最初に室僕を経験することになります。その中で、室僕の仕事として、室僕ワークというものがあります。仕事とは言うものの、内容は、部屋の掃除、ゴミ捨てなど、皆さんが生活する上で必ず行うことなので、大きい負担にはなりません。

この室僕ワークをしっかり行うことで、快適な部屋を作れるほか、同部屋の上級生との信頼関係を築くこともできるでしょう。

商学部1年 Y.N(熊本県出身)

## 人間関係

日吉寄宿舍はアパートやマンションとは異なる場です。寄宿舍には、育ちも価値観も違う人がともに住むわけですから、一人暮らしのように「とにかく自由」という生活はできないかもしれません。しかし、時を経るごとにともに住むことの価値がわかってきて、卒寮するものは寄宿舍との別れを惜しみながら、社会に巣立っていきます。「同じ釜の飯を食う」仲間を作ることがどんなに大切か、どんなに将来の糧となるか。「寄宿舍の財産は人間関係」という言葉から伝わるものを皆さんはどのように受け止められるのでしょうか。

### 寮の人間関係について

---

寄宿舍に入ると、言うまでもなくたくさんの方がいる環境に置かれます。寮は言わば自分の家ですからそこに一緒に住む友達は家族のようなものです。時には楽しい思い出を作ったり、時には喧嘩したりと色々な経験ができ、他の環境では得られない特別な友達、先輩ができます。

舎生全員で寮から早慶戦の会場まで仮装して歩いたり、徹夜でテレビ室に集まって映画を見たり、同期と旅行に行ったりと楽しい思い出ばかりです。

一人暮らしが寂しく楽しく過ごしたいという方、今後の人生における友人を求める方、共同生活が楽しみな方は是非歓迎します。

経済学部 1年 H.W(埼玉県出身)

### 上下関係について

---

日吉寄宿舍には、上下関係が「明確に」存在します。下級生は常に上級生に対して礼を尽くすことが求められ、上級生は常に強い責任と愛情をもってそれに応えていきます。そして、この上下関係は「必ず」守ってもらいます。

そのようにして、日吉寄宿舍は学生全員による自治・隣人に対する不満の解消を可能にしているのです。

しかし上下関係とは言っても、下級生から意見も言える良質な上下関係です。「絶対服従」では決してありません！(笑)

僕は、自分の上級生・下級生を兄弟のように感じています。このような間柄は上下関係があるからこそだと思います。この間柄が中々に快くて、僕は日吉寄宿舍が好きです。

来年の4月1日に、桜の下で新たな弟たちに出会えることを期待しています。

理工学部 3年 Y.N(福岡県出身)

新入生の皆さん、きらびやかな大学生活に夢を見ているかもしれませんが、日吉寄宿舍には上下関係が存在します。上級生は上級生として責任ある行動をとり、下級生は下級生としてそれに従っていくという関係性です。これは自治活動を学生のみで行うという寄宿舍独特の文化であるといえます。上下関係がない学生のみコミュニティでは、抑止力をもって自治を行うのが困難になってしまうという点から、毎年この上下関係は伝統として引き継がれてきています。

しかし、近年「上下関係がなくても自治活動は円滑に行えるのではないか」という議論が活発になってきています。このように、現状のシステムに考え無しに従うのではなく、自分たちの生活をよりよくするために、議論を交わし、システムをがらりと変えることができるのも寄宿舍の魅力であるといえます。

来年、入舎してくる皆さんと一緒に、寄宿舍について考え、議論を深め、全員の寄宿舍の最適解を模索して行くのを楽しみにしています。

法学部 3年 R.H(千葉県出身)

## 部屋の間関係について

---

寄宿舍の特徴として、3人部屋であるという事が挙げられよう。1年間生活を共にする為、同部屋の人とは他の舎生よりも深い関係が築かれる。

部屋の決め方はくじ引きである。4月最初の舎生大会、食堂に全舎生が集まり1人ずつ箱に入れられた紙を引いていくのである。これが本当に重要。上で述べた様に、1年間の生活が決まるのである。そのくじの結果一つ一つに食堂は歓喜、怒号、奇声、机を叩きまくる音、拍手、諸々の凄まじい音が響き渡る。祭りだ、祭りである。

さてこのように部屋のメンバーが決まるわけだが、正直学年の違う3人部屋に抵抗を覚える人も少なくは無いただろう。プライベートゾーンはあるのか。怖い上級生と一緒に部屋に入っていじめられないか。不安は尽きないと思う。敢えて言おう、杞憂であると。確かに、プライベートゾーンはベッドの上のみと言っても過言ではないが困ることは何もない。また、これ以上濃密な人付き合いは他所では難しいと伝えたい。

B'zのRUNという曲を聴いて欲しい。「何もないところからたよりなく始まって 数えきれない喜怒哀楽をともにすれば 時の流れは妙におかしなもので 血よりも濃いものを作ることがあるね」という歌詞がある。レコード会社に勧められて出会った松本孝弘と稲葉浩志であるが、彼らの深い関係性への過程をこのように歌詞へ落とし込んだのだろう。私は寮に入って、この歌詞を頭での理解ではなく、体感することとなった。彼らほどの関係性を1年間で築けるミエナイチカラが部屋にはある。そして、ここで得られる信頼関係はゆるぎないものとなる予感がしている。是非あなたと共に荒野を走りたいと、私は願う。



## FAQ

### Q. SFC への通学は可能ですか？

A. 寄宿舍から SFC まで約 1 時間半弱かかりますが、通学は可能です。また日吉からキャンパスの最寄り駅までは下り電車ですので混む場合が少ないです。そのため比較的ストレスなく通学できます。

総合政策学部 4 年 H.K(宮城県出身)

### Q. 寮にどのくらい時間が拘束されるのですか？

A. 寄宿舍は、自治寮です。つまり、寄宿舍を運営していくために必要な会議であったり、掃除等の仕事、舎生が企画する年間行事などが拘束時間にあたります。具体的には学生部との折衝、月に一回程度の委員会の集まりや、舎生全員で寄宿舍の方針を決定する舎生大会、公共スペースの掃除などをする当番制の仕事や、新入生歓迎旅行、キャンプ、成人式などの行事です。これだけ見れば、何かと時間的に寄宿舍に拘束されてしまうのではないかと心配になる人もいると思います。一人暮らしをする場合よりも生活の自由度が減ると考える人も多いでしょう。しかし、上のような自治活動に伴う経験は他では得がたいものです。またサークルやアルバイトができなくなるという心配はありません。大学生の大きな魅力は、自分の好きなように時間が使えることです。寄宿舍に入舎を希望されている皆さんも大学で経験したいことや勉強したいことなど色々あると思います。寄宿舍にはスポーツや勉強、趣味など様々なことに打ち込んでいる人がたくさんいます。そういった人たちとともに長い時間を過ごすことによって刺激をもらうこともあったり、特別な思い出を作ることでもあります。

法学部 3 年 M.M(広島県出身)

### Q. 寮生活とサークルは両立できますか？

A. 寮生活とサークルの両立はできます。寮には年間を通して様々なイベントがあり、定期的な会議もあります。これらは寮生活をする上で、参加必須になるのですが、寮には体育会やサークルで大事な活動がある場合はそちらを優先してもいいことになっています。だから、自分のやりたいキャンパスライフを送りつつ、寮生活を楽しむことはできます。ただ、日吉寄宿舍は他の塾生が経験できないような寮生活を送っています。そこには素晴らしい価値があるので、入寮される方はぜひ寮生活を含めたキャンパスライフを設計してみてください！！

商学部 2 年 I.Y(岐阜県出身)

**Q. 寮生活と体育会は両立できますか？**

A. 「体育会と寮生活の両立はどちらも時間的拘束があるから難しい、」という不安を持つ方もいると思います。

今の寄宿舍でも体育会に入っている方がおり、その人は朝 6 時から 9 時までのトレーニングを週 5 日で行い、その午後に追加的に自主練をするそうです。基本的には週 7 日で練習しているそうです。

一方で寄宿舍内では役職で与えられた仕事をこなし、自治に関する会議が行われます。これらは自治を運営する上で必要不可欠なものです。しかし時間的拘束は日常生活に差し支えありません。

他の人よりは多少忙しくなるかもしれませんが慶應という最高の環境で勉学とスポーツに励むというのはやりがいがあり何より学生生活が充実したものになります。

理工学部 2 年 Y.Y(千葉県出身)

**Q. 寄宿舍が日吉にあるメリットはなんですか？**

A. 最大のメリットは、日吉キャンパスから徒歩 10 分という立地です。もし寝坊して 8 時 50 分に起きたとしても、9 時からの 1 限に間に合います。日吉での期末試験にも交通機関の遅れを心配する必要がありません。また、矢上キャンパスまで徒歩 20 分、三田キャンパスへは三田線に乗れば乗り換えなしで行くことができます。体育会に所属する人にとっては、下田グラウンドや蝮谷の練習場へ自転車や徒歩で行くことができるので、とても快適です。私生活では、日吉駅から渋谷へ 20 分、横浜へ 15 分でアクセスでき、遊びや買い物にも便利です。そして、なんととっても部屋から見える夜景は最高ですよ。

経済学部 2 年 K.Y(愛知県出身)

**Q. 大学院への進学を考えているのですが、寄宿舍は 4 年間しか住めないのですか？**

A. 寄宿舍は、原則として 4 年間しか住むことができません。従って、大学院への進学を考えている方でも大学 4 年生を終えたら寄宿舍を出なければなりません。私は、まだ 1 年生ですので、大学院に進学するか迷っていますが、そんな時に先輩に様々な相談ができるのが集団寮である寄宿舍の強みです。先輩から様々なアドバイスをもらって学習意欲を上げることができるのも寄宿舍のメリットと言えます。

理工学部 1 年 H.Y(千葉県出身)

**Q. 寮ではバイクや車に乗れますか？**

A. はい！もちろん乗ることは可能です。しかし、自動車に関しては一時的な乗り入れのみが許可されています。車の駐車スペースはないので、自分の車を置くことはできません。そのため、車が必要な時は近くのレンタカー屋さんに借りに行くことが多いです。お店には団体が登録してあるため、寮生なら安い値段で借りることができます。バイクは敷地内の駐輪場に無料でとめることができます。さらに、排気量などの制限はないので、リッター越えのハーレーや、BOSSHOSSのモンスターマシンも置くことができます。バイク好きには最高の環境ですね！

日吉は起伏が激しいので、原付やバイクを持っておくと移動に便利です。(原付の免許は車より取りやすいので取っておくと良いでしょう。)原付を買って、大学の友達に差をつけよう！！コーナーで差をつけろ！！

理工学部1年 K.S(神奈川県出身)

**Q. 寮では酒宴が多いと聞きます。無理にお酒を飲まされることはありますか？**

A. 当たり前のことですが、未成年の飲酒は禁止です。未成年の人が無理に飲まされることはありません。加えて入舎前にアルコールパッチテストを行い、お酒が苦手な人を把握しております。ご安心ください。

誕生日会や寄宿舍の行事でお酒を飲む機会は確かにありますが、お酒が苦手な人や飲みたくない人に対して過度に飲ませようとすることはありません。飲みたくないという意思をはっきりと伝えれば理解してくれます。

とはいえ、誕生日会やその他の行事は舎生同士の交流の場でもあるため、ある程度参加したほうがお互いに仲良くなれます。お酒は社会に出た時の必要なコミュニケーションツールの一つでもあります。重要なのはお酒をたくさん飲むことではなく、そういった場での周りの対応を学ぶことです。

重ねて言いますが、無理に飲む必要もないですし、飲まされることもありません。互いに気分を害することのない、楽しい健全な飲酒を心がけましょう。

経済学部2年 B.R(大分県出身)

**Q. いまいち寮というもののイメージが浮かばないのですが、寮を一言で表すとなんでしょう？**

A. もはや一種の「大学」と言ってもいいでしょう。友人、学び、遊び、さながら大学のような経験がこの寮で経験できます。(ただし恋愛を除く)

「慶應義塾男子大学」へようこそ。

理工学部2年 K.T(長野県出身)

## 最後に

令和元年度後期副委員長 経済学部 3年 杉原健太郎(大阪府出身)

この冊子は、新入生の皆様に日吉寄宿舍での生活を伝えるために、舎生一人ひとりが筆を執って作ったものです。ここでの暮らしぶりがよく伝わり、魅力的に思ってもらえたら幸いです。

さて、そうしてここまで読み進めてきてくれた皆様は、寄宿舍の紹介をする文章の中で繰り返しここでの人間関係の尊さが語られていたことに気付かれたのではないのでしょうか。多くの舎生がそう語る通り、この寄宿舍での日々の生活、委員会の自治活動、たまのイベントごとまで、ここでの全ては濃密な人間関係と共にあります。皆様もここに来れば、全国から集まった個性的な面々の舎生たちと、同期としてぶつかり合いつつも助け合ったり、他の誰かの先輩や後輩として自分の役割を果たしたりと、濃く深い人間関係の中でさまざまな経験を積むことになるでしょう。私たちは、そうして関わり合い、助け合い、共に成長していく新たな仲間を心待ちにしています。

冊子を読んで寄宿舍に入りたいと思ってくれた方、そうでなかった方、すべての方のこれからの大学生活が実りあるものになりますようお願いしております。

日吉寄宿舍案内図（できるだけ面接日前に下見してください）

